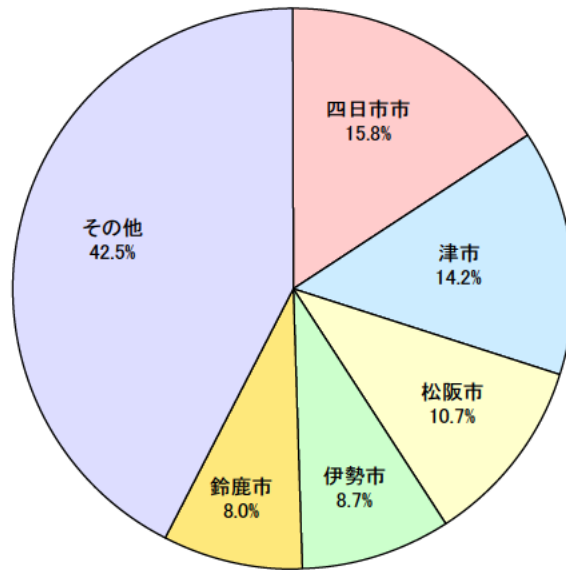


単位：事業所

市 町 名	平成18年	順位
四日市市	13,607	1
津市	12,188	2
松阪市	9,224	3
伊勢市	7,493	4
鈴鹿市	6,903	5
桑名市	5,917	6
伊賀市	4,669	7
志摩市	3,477	8
名張市	3,257	9
亀山市	1,887	10
いなべ市	1,883	11
鳥羽市	1,710	12
尾鷲市	1,671	13
熊野市	1,546	14
菰野町	1,406	15
紀北町	1,375	16
南伊勢町	860	17
東員町	811	18
大台町	707	19
明和町	701	20
多気町	684	21
大紀町	665	22
川越町	592	23
紀宝町	590	24
御浜町	547	25
玉城町	497	26
度会町	425	27
朝日町	296	28
木曾岬町	277	29
三重県	85,865	
全 国	5,911,038	

● 市町別事業所数の割合



平成18年の県内の市町別事業所数をみると、四日市市が13,607事業所で最も多く、県全体の15.8%を占めています。次いで津市、松阪市、伊勢市、鈴鹿市の順となっています。

上位5市町で県全体の57.5%を占めています。

● グラフデータ

単位：事業所、%

	H18年	割合
四日市市	13,607	15.8
津市	12,188	14.2
松阪市	9,224	10.7
伊勢市	7,493	8.7
鈴鹿市	6,903	8.0
その他	36,450	42.5

【資料出所】

総務省統計局「事業所・企業統計調査」

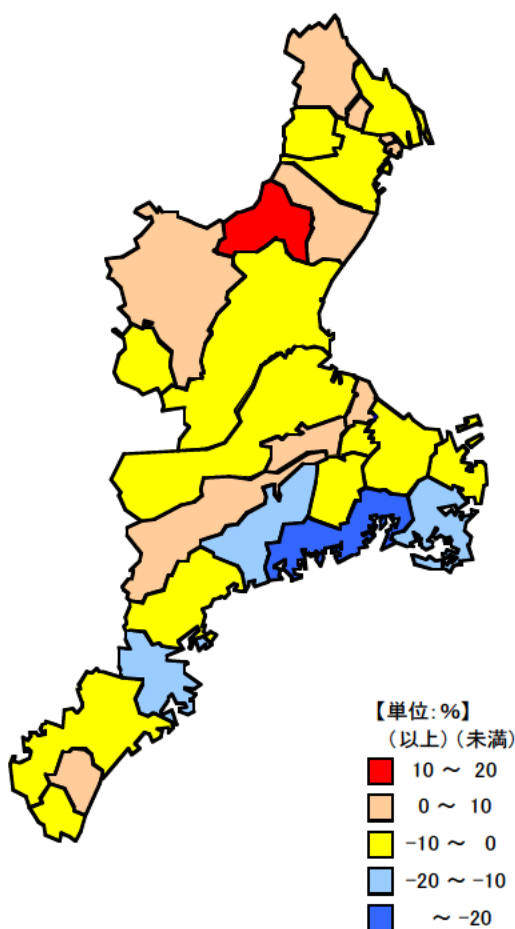
【備考】

調査期日 平成18年10月1日現在

単位：％

市 町 名	平成18年	順位
亀山市	18.1	1
明和町	8.8	2
多気町	8.6	3
いなべ市	8.1	4
朝日町	7.5	5
川越町	7.1	6
御浜町	6.9	7
東員町	1.8	8
伊賀市	1.6	9
大台町	0.9	10
鈴鹿市	0.1	11
菰野町	△ 0.8	12
名張市	△ 1.3	13
玉城町	△ 1.9	14
伊勢市	△ 2.1	15
紀宝町	△ 2.3	16
桑名市	△ 2.4	17
松阪市	△ 3.1	18
四日市市	△ 4.0	19
津市	△ 4.3	20
鳥羽市	△ 5.6	21
熊野市	△ 7.1	22
度会町	△ 8.0	23
紀北町	△ 9.1	24
木曾岬町	△ 9.5	25
志摩市	△ 10.9	26
大紀町	△ 13.0	27
尾鷲市	△ 13.5	28
南伊勢町	△ 22.3	29
三重県	△ 2.1	
全 国	△ 2.5	

● 従業者増減率



平成13年から18年にかけての三重県内の従業者増加率は2.1%の減となりました。最大の伸び率を示したのは亀山市の18.1%で、次いで明和町、多気町となっています。

一方、減少率が最も大きいのは南伊勢町の22.3%の減で、次いで尾鷲市、大紀町となっています。

【資料出所】

総務省「事業所・企業統計調査」

【算出方法】

(平成18年従業者数÷平成13年従業者数-1)×100

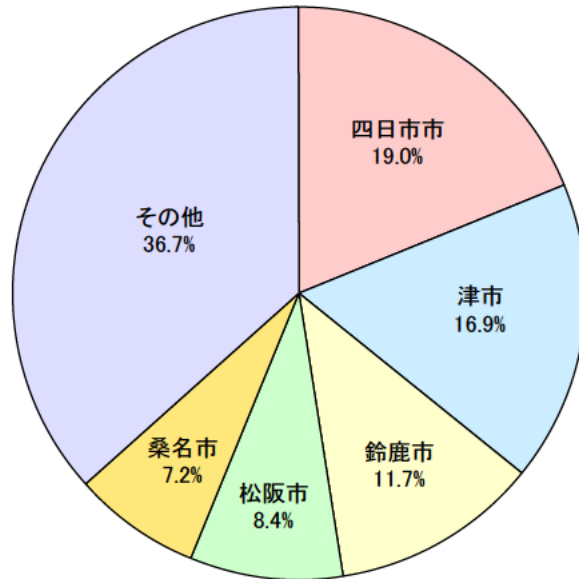
【備考】

調査期日 10月1日現在
従業地ベースでの算出

単位：百万円

市 町 名	平成20年度	順位
四日市市	1,393,393	1
津市	1,236,771	2
鈴鹿市	857,000	3
松阪市	618,887	4
桑名市	527,561	5
伊勢市	468,482	6
伊賀市	436,533	7
いなべ市	252,670	8
名張市	252,387	9
亀山市	203,401	10
志摩市	155,411	11
菰野町	107,633	12
多気町	90,884	13
鳥羽市	84,441	14
尾鷲市	70,731	15
東員町	67,162	16
熊野市	62,938	17
川越町	58,109	18
紀北町	55,456	19
玉城町	54,872	20
明和町	45,705	21
紀宝町	39,183	22
朝日町	38,079	23
南伊勢町	33,352	24
大台町	31,108	25
大紀町	24,658	26
木曾岬町	23,255	27
御浜町	22,539	28
度会町	13,184	29
三重県	7,325,785	
全 国	4,920,670億円	

● 市町内総生産額の割合



平成20年度の市町内総生産額をみると、四日市市が1兆3,934億円と県内で最も多く、県全体の19.0%を占めています。次いで津市、鈴鹿市、松阪市、桑名市の順となっています。

上位5市で、県全体の6割を超えています。

● グラフデータ

単位：百万円、%

	H20年度	割合
四日市市	1,393,393	19.0
津市	1,236,771	16.9
鈴鹿市	857,000	11.7
松阪市	618,887	8.4
桑名市	527,561	7.2
その他	2,692,173	36.7

【資料出所】

三重県政策部統計室「平成20年度三重県の市町民経済計算」
内閣府経済社会総合研究所「平成21年度国民経済計算確報」

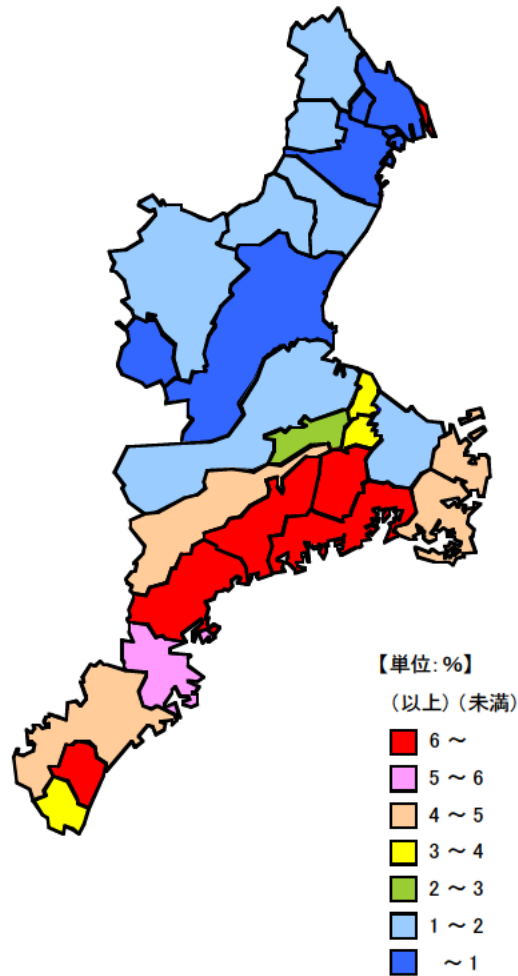
【備考】

市町民経済計算は表章年次の時価(名目値)で表している。

単位：%

市 町 名	平成20年度	順位
南伊勢町	24.7	1
御浜町	13.9	2
大紀町	9.9	3
紀北町	8.6	4
度会町	8.0	5
木曽岬町	7.1	6
尾鷲市	5.1	7
大台町	4.9	8
鳥羽市	4.3	9
志摩市	4.2	10
熊野市	4.1	11
明和町	3.9	12
紀宝町	3.4	13
玉城町	3.2	14
多気町	2.2	15
伊賀市	1.8	16
松阪市	1.4	17
菰野町	1.3	18
亀山市	1.2	19
鈴鹿市	1.1	20
伊勢市	1.0	21
いなべ市	1.0	21
津市	0.9	23
桑名市	0.7	24
東員町	0.5	25
名張市	0.4	26
四日市市	0.4	27
朝日町	0.2	28
川越町	0.2	29
三重県	1.4	
全 国	1.4	

● 第1次産業市町内総生産額比率



平成20年度の県内の市町内総生産額に占める第1次産業の比率をみると、南伊勢町が24.7%と突出して高くなっており、次いで御浜町、大紀町の順となっています。

一方、最も低いのは、川越町と朝日町の0.2%、次いで四日市市と名張市となっています。

【資料出所】

三重県政策部統計室「平成20年度三重県の市町民経済計算」、内閣府経済社会総合研究所「平成21年度国民経済計算確報」

【算出方法】

第1次産業市町内総生産額÷市町内総生産額×100

【備考】

第1次産業＝農業、林業、水産業

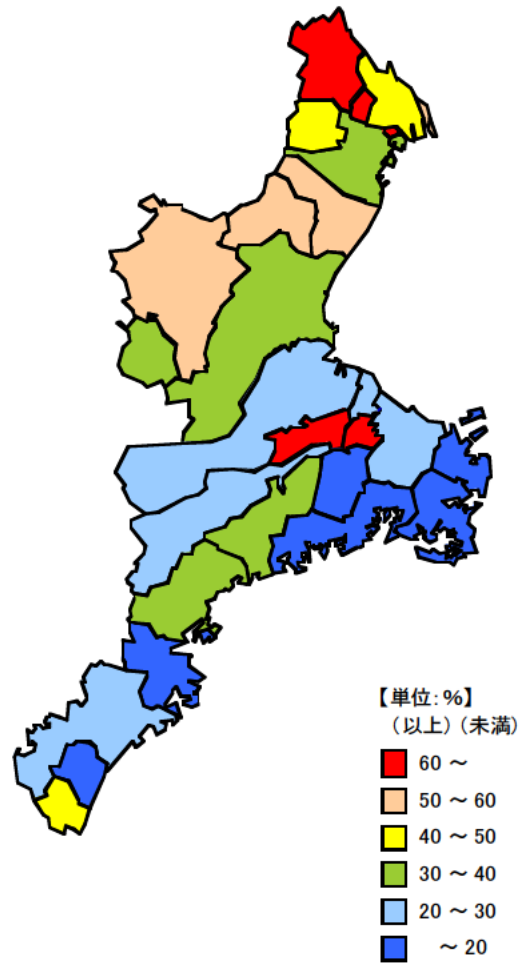
全国値は暦年値

第1次産業＋第2次産業＋第3次産業－帰属利子等＝100%

単位：％

市 町 名	平成20年度	順位
多 気 町	80.1	1
いなべ市	73.0	2
玉 城 町	69.7	3
朝 日 町	61.5	4
東 員 町	60.6	5
亀 山 市	53.8	6
木 曽 岬 町	52.0	7
鈴 鹿 市	51.7	8
伊 賀 市	50.9	9
菰 野 町	48.5	10
紀 宝 町	44.8	11
桑 名 市	40.3	12
名 張 市	35.8	13
四 日 市 市	35.1	14
川 越 町	34.8	15
津 市	32.9	16
紀 北 町	30.6	17
大 紀 町	30.2	18
大 台 町	29.7	19
明 和 町	27.1	20
松 阪 市	26.5	21
伊 勢 市	24.8	22
熊 野 市	21.4	23
南 伊 勢 町	19.0	24
度 会 町	16.7	25
尾 鷲 市	11.8	26
志 摩 市	10.6	27
鳥 羽 市	10.3	28
御 浜 町	9.1	29
三 重 県	38.5	
全 国	25.8	

● 第2次産業市町内総生産額比率



平成20年度の県内の市町内総生産額に占める第2次産業の比率をみると、多気町が80.1%と最も高く、次いで、いなべ市の、玉城町の順となっています。

一方、最も低いのは、御浜町の9.1%で、次いで鳥羽市、志摩市となっています。

【資料出所】

三重県政策部統計室「平成20年度三重県の市町民経済計算」、内閣府経済社会総合研究所「平成21年度国民経済計算確報」

【算出方法】

第2次産業市町内総生産額÷市町内総生産額×100

【備考】

第2次産業＝鉱業、製造業、建設業

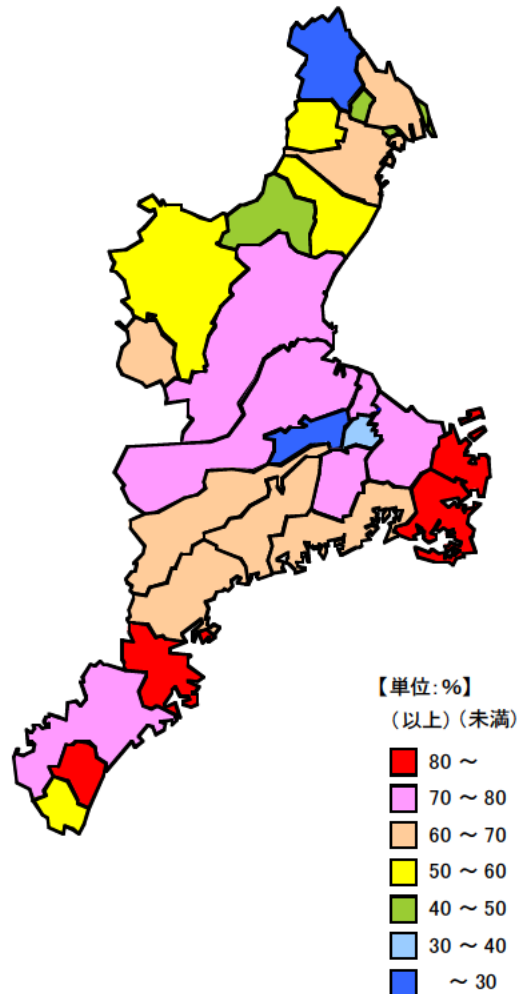
全国値は暦年値

第1次産業＋第2次産業＋第3次産業－帰属利子等＝100%

単位：%

市 町 名	平成20年度	順位
鳥 羽 市	89.2	1
志 摩 市	89.0	2
尾 鷲 市	86.9	3
御 浜 町	80.7	4
度 会 町	79.1	5
熊 野 市	78.3	6
伊 勢 市	78.0	7
松 阪 市	75.8	8
明 和 町	72.8	9
津 市	70.0	10
大 台 町	69.1	11
川 越 町	68.8	12
四 日 市 市	68.3	13
名 張 市	67.6	14
紀 北 町	64.7	15
大 紀 町	63.7	16
桑 名 市	62.9	17
南 伊 勢 町	60.1	18
紀 宝 町	55.6	19
菰 野 町	54.0	20
伊 賀 市	51.1	21
鈴 鹿 市	51.0	22
亀 山 市	48.8	23
木 曽 岬 町	44.7	24
東 員 町	42.7	25
朝 日 町	42.1	26
玉 城 町	30.8	27
い な べ 市	29.8	28
多 気 町	21.6	29
三 重 県	63.9	
全 国	72.8	

● 第3次産業市町内総生産額比率



平成20年度の県内の市町内総生産額に占める第3次産業の比率をみると、鳥羽市が89.2%と最も高く、次いで志摩市、尾鷲市の順となっています。

一方、最も低いのは、多気町の21.6%、次いで、いなべ市、玉城町となっています。

【資料出所】

三重県政策部統計室「平成20年度三重県の市町民経済計算」、内閣府経済社会総合研究所「平成21年度国民経済計算確報」

【算出方法】

第3次産業市町内総生産額÷市町内総生産額×100

【備考】

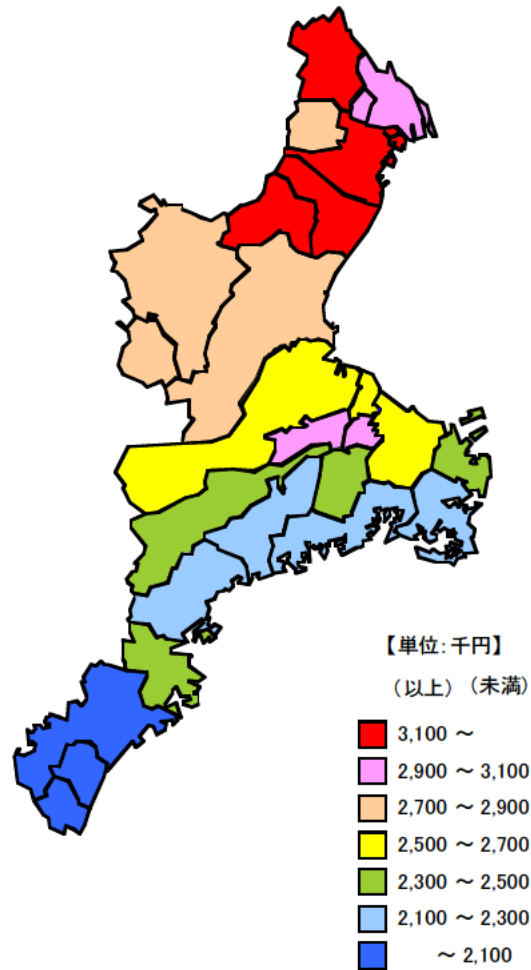
第3次産業＝電気・ガス・水道業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、運輸・通信業、サービス業、政府サービス生産者、対家計民間非営利サービス生産者
全国値は暦年値

第1次産業＋第2次産業＋第3次産業－帰属利子等＝100%

単位：千円

市 町 名	平成20年度	順位
朝 日 町	3,335	1
いなべ市	3,269	2
四日市市	3,170	3
亀 山 市	3,170	3
川 越 町	3,120	5
鈴 鹿 市	3,116	6
東 員 町	3,061	7
多 気 町	3,020	8
木曾岬町	3,003	9
桑 名 市	2,985	10
玉 城 町	2,929	11
菰 野 町	2,890	12
伊 賀 市	2,854	13
津 市	2,822	14
名 張 市	2,703	15
松 阪 市	2,600	16
伊 勢 市	2,531	17
明 和 町	2,526	18
度 会 町	2,449	19
鳥 羽 市	2,358	20
尾 鷲 市	2,348	21
大 台 町	2,315	22
南伊勢町	2,236	23
紀 北 町	2,179	24
大 紀 町	2,170	25
志 摩 市	2,132	26
御 浜 町	2,044	27
熊 野 市	1,986	28
紀 宝 町	1,924	29
三 重 県	2,829	
全 国	2,756	

● 1人当たり市町民所得



平成20年度の県内市町の1人当たり市町民所得をみると、朝日町が3,335千円と最も高く、次いで、いなべ市、四日市市と亀山市の順となっています。
一方、県南部の市町では総じて低い額となっています。

【資料出所】

三重県政策部統計室「平成20年度三重県の市町民経済計算」
内閣府経済社会総合研究所「平成21年度国民経済計算確報」

【算出方法】

市町民所得÷各市町総人口(平成20年10月1日現在、市町別推計人口)

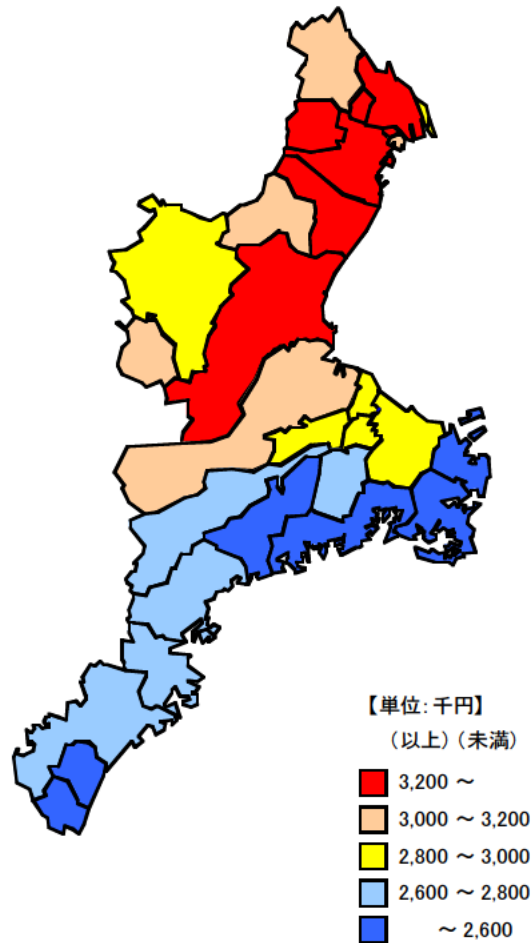
【備考】

市町民所得とは、雇用者報酬と財産所得及び企業所得を加えたものであるため、必ずしも個人の所得水準を表わすものではない。

単位：千円

市 町 名	平成21年度	順位
桑 名 市	3,499	1
朝 日 町	3,460	2
東 員 町	3,348	3
四 日 市 市	3,314	4
鈴 鹿 市	3,279	5
菰 野 町	3,236	6
津 市	3,232	7
名 張 市	3,185	8
川 越 町	3,172	9
亀 山 市	3,147	10
いなべ市	3,037	11
松 阪 市	3,000	12
伊 勢 市	2,952	13
玉 城 町	2,949	14
伊 賀 市	2,939	15
明 和 町	2,878	16
多 気 町	2,878	17
木 曽 岬 町	2,873	18
大 台 町	2,733	19
尾 鷲 市	2,717	20
度 会 町	2,675	21
紀 北 町	2,665	22
熊 野 市	2,627	23
御 浜 町	2,585	24
鳥 羽 市	2,571	25
南 伊 勢 町	2,549	26
大 紀 町	2,524	27
紀 宝 町	2,484	28
志 摩 市	2,473	29
三 重 県	3,138	
全 国	3,275	

● 納税義務者1人当たりの所得金額



平成21年度の県内の市町別納税義務者の1人当たりの所得金額をみると、桑名市が3,499千円と最も高く、次いで朝日町、東員町の順となっており、北勢地域の市町が上位を占めています。

一方、県南部の市町では、総じて低い額となっています。

【資料出所】

三重県政策部市町村行政室「平成21年度市町村税の概要」所得割の課税状況

総務省自治税務局「市町村税課税状況等の調」課税標準額段階別平成21年度分所得割額等に関する調

【算出方法】

総所得金額等(計)÷所得割納税義務者数(計)